



今年も学校検診が終わりました。大先生（吉行先生）は楠小学校、私は東陽中学校の校医として毎年子どもたちの検診を行っています。中学校の検診を終えて思うことは、口の中は精神状態も反映するということです。一人一人の検診は短い時間ですが、その中でもちょっと手を焼きそうだなと思う生徒の口腔衛生状態があまり良くなかったりすることもあります。学校検診に行くと、普段の診療とは違い同じ年の生徒さんたちを一度に診るので「1クラスで矯正を受けているのはだいたい3, 4人ぐらい」など、大まかな地域の平均をみることもできるので、検診する側も勉強になります。

中学生はちょうど子どもから大人への移行期で第2反抗期と呼ばれる時期です。学校の先生方の苦労は相当なものだと感じますが、また来年も元気な生徒たちに会えるのを楽しみにしています。

院長 西村 誠



歴史のなかの歯磨き

「昔の人がどうやって歯磨きしていたのか見てみたい」と子どもが言うので探してみると、江戸時代の浮世絵に歯磨きをする人の絵がたくさん残されていました。よく見ると木の枝の先端が今の歯ブラシのようにブラシ状になっているのが分かります。



太田記念美術館所蔵



MFA Boston 所蔵

左の猫の絵は、当時房楊枝と呼ばれた歯ブラシを売る商人の姿だそうです。歯磨きの習慣が根付いていたことが分かりますね。

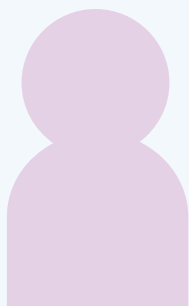
医療ライター 妹尾 淳子

勉強会に参加しました！



泉大津市の3つの歯科医院合同の勉強会に参加してきました。各医院の取り組みなどを発表し、当院からは歯科衛生士の中川が発表しました。休診でご迷惑をおかけしましたが各医院のスタッフの方と交流し楽しく有意義な時間が過ごせました。

新しいスタッフのご紹介



1月から西村歯科医院で歯科助手として働かせて頂いております、西浦 愛夏と申します。歯科でのお仕事は初めてですが、先生や先輩方にご指導して頂き、少しでも早く患者様に安心して治療を受けて頂けるように笑顔で元気に頑張りたいと思います。まだまだ未熟ですが宜しくお願いいたします。

「ほほえみ」バックナンバーはホームページにも掲載中です！

西村歯科 泉大津

